

令和5年11月6日

大山町議会議長 米本 隆記 様

大山町議会議員 吉原 美智恵

大山町議会議員派遣報告書

1	目的	全国市町村国際文化研修所主催の市町村議会議員研修
2	派遣場所	滋賀県大津市
3	期間	令和5年10月23日(月)～24日(火)
4	派遣議員	吉原美智恵議員
5	報告	<p>【内容】</p> <p>(1) 地方議会の展望 早稲田大学マニフエスト研究所 顧問 北川 正恭</p> <p>①地方議会の現在地</p> <p>1) 1995年 28年前 地方分権法制定 2) 2000年 23年前 地方分権一括法制定(機関委任事務全廃・例外なし) ・国と地方が上下主従から対等協力に ・地方の自己決定と自己責任の地域自立の時代 3) 8年前 地方創生法制定 4) 3年前 第二地方創生法制定 ・分権するだけでなく地域を主体的に創生する覚悟</p> <p>②これからの展望</p> <p>1) 議会の役割は執行部の監視から脱却 2) 執行部と対等な機関競争 3) 市町村長さんにはお願いは禁句(提案に) 4) チーム議会で活動のシステム構築を(議会事務局とチーム議会) 5) 議員間討議の充実(独任制と合議制)</p> <p>(2) 事例紹介</p> <p>①岩手県奥州市議会 議長 菅原 由和</p> <p>1) 議長の所信表明(2023年3月) 議長就任希望者の所信表明は議場で ↓ 市民への約束の表明 ↓</p>

議長マニフェストにまとめ、工程表も公表

2) 奥州議会の「見える化」の推進

- ・議会改革の取組状況とアウトカムの評価。公表。
(取組経過を随時公表)

- ・議会 ICT 推進方針の明確化

3) 広報・広聴活動の充実・強化

- ・広聴を加えて、議会広聴広報委員会に改組
- ・様々な世代の市民参画と市民意見の把握
(ワールドカフェによる民意把握の充実)
- ・広報の工夫と充実を図り、市民に分かりやすい情報発信

4) 政策立案・政策提言サイクルの充実・強化

- ・決算・予算審議の連動による政策提言サイクルの構築
(新たに決算認定において政策提言を附帯決議)

↓

(新年度予算審査で連動へ)

* 議会基本条例改正を発議 (2021年12月)

第三者評価 (早稲田大学マニフェスト研究所) を受け、条例改正事項の決定

②長野県宮田村議会 議長 天野 早人

1) 2026年1月宮田村むらづくり基本条例の制定

- ・住民、行政、議会の三者制定
(三者協働の制定は全国で2事例目)
- ・住民説明会は三者協働で開催
- ・行政も条例を具現化する努力をしている
(宮田村むらびと会議の設置)
- ・主催者教育・中学生の職場体験学習・議会講演会

(3) 今後の議会改革推進の検討

早稲田大学マニフェスト研究所 事務局長 中村 健

①先進事例に学ぶ

1) 住民に信頼される議会活動とは

- ・地域課題を解決するため現状調査し、その問題を解決するために視察・研究を行う。一つの解決方法を見出し、実行し、解決に至ったかどうかを確認して、次の活動を検討する。一連のプロセスが住民と共有されている状態。

2) 滋賀県大津市議会

タブレット端末の活用を具体的に規定

- ・地域の災害情報の収集
- ・タブレット端末の活用

災害情報収集マニュアルに基づき、最新情報の共有化と効率的な会議の運営

3) 飯綱町議会（議会政策サポーター）

- ・サポーターは、公募のほか、年齢・地域・職業・性別などを勘案しながら、議員たちが手分けして町民に声をかけて集めた。第1回の12人の内訳は、農業4人・会社員3人・自営業3人・会社役員1人・無職1人。第2回のサポーターには子育て真っ最中のママさんもあり、議員たちはママ友たちの集まりに参加し、意見交換。

4) 可児市議会

- ・市民の多様な意見を集約するための取り組みとして、子育て中の女性が参加する「ママさん議会」を開催、子育て世代の女性の声を活かし、意見書を発議、可決。

5) 四日市市議会（議会版パブコメ）

開会前に議案書類を公開し、“議会版パブコメ”を行い、住民意見を吸い上げ委員会審議等へ反映。

住民自治を成熟させていくための「住民参画」。

中村健氏のまとめの言葉

一人一人のチカラは微力であるが無力ではない。あきらめず仲間をつくり、皆が力を合わせれば、大きな課題も乗り越えられる。昭和、平成、令和と時代背景は変わってきている。当然、議会に期待されることも変わってきている。地域は今が正念場。

“地域を創るのは議会であり、議会を創るのはあなたです！”

【所感】

私たちの議会もバージョンアップして議会活動に取り組んでいかなければと痛感した。それには、議会を構成する人と組織がどう変わるかということが重要である。

